

燕市史 通史編 目次

第一編 燕の自然

第一章 地形

第一節 地形の概要

第二節 地形細説

1. 燕の地形
2. 須頃島の地形
3. 殿島の地形

第二章 土壌

第三章 気象

1. 気温
2. 降水量
3. 風
4. 雪

第二編 原始・古代・中世の燕とその周辺

第一章 原始・古代の燕とその周辺

第一節 西蒲原の原始・古代遺跡

1. 狩人の村
2. 米作りの村

第二節 古代の越・越後

1. 大和政権と越
2. 越国の成立
3. 越後国の成立
4. 律令制下の越後国
5. 律令制の変質と越後国
6. 大川のほとりの村

第二章 中世の燕とその周辺

第一節 中世の舞台

1. 中世の越後と燕周辺
2. 燕周辺の荘園と公領

第二節 鎌倉・南北朝期の燕周辺

1. 鎌倉権力の進出
2. 鎌倉幕府の滅亡と南北朝の動乱

第三節 室町・戦国期の燕市周辺

1. 守護・守護代と国人
2. 戦国期の燕市周辺

3. 越後の川中島

4. 館のある村

第三編 幕藩支配下の暮らし ―近世の燕―

序章 近世のはじまり

第一節 川中島（蒲原低湿地帯）の開発

第二節 新たな支配者

第一章 錯綜する幕藩支配

第一節 三条藩と初期幕領支配

1. 三条藩

2. 幕領

第二節 村上藩・高崎藩の支配

1. 村上藩

2. 高崎藩

第三節 長岡・与板・白河藩等と中後期幕領支配

1. 長岡藩・与板藩

2. 中・後期の幕領

第四節 四万石領越訴騒動

第二章 検地ときびしい税負担

第一節 検地

1. 出雲崎陣屋（役所）

2. 村上藩の検地

3. 長岡藩と与板藩の検地

第二節 年貢と諸負担

1. 出雲崎陣屋（役所）時代

2. 村上藩領以後

第三節 農作業と年貢納入・農民生活の規制

1. 農作業と年貢納入

2. 農民生活の規制

第三章 開発の進展

第一節 治水の努力と用排水

1. 信濃川と中ノ口川の普請

2. 用水と排水

第二節 新田開発と耕地の増加

1. 低湿地の開発

2. 堤外地の開発

3. 個人請新田と日出瀉の開発

- 第三節 割地制度
- 第四節 用排水をめぐる争い
 - 1. 松橋村と上流一二か村出入
 - 2. 燕町と井土巻村
 - 3. 信濃川・中ノ口川をめぐる争い
- 第五節 大河津分水計画と村々の動向
 - 1. 分水計画の願いと村々
 - 2. 大河津分水騒動

第四章 燕町と村々と

- 第一節 町と村の形
 - 1. 燕町
 - 2. 燕町の産業
 - 3. 村々の形
- 第二節 町・村の文化
 - 1. 地方文化の興隆
 - 2. 文人の往来
 - 3. 燕の文人たち
 - 4. 国学の広まり
 - 5. 庶民の文芸

第五章 変わりゆく社会

- 第一節 水害と三条地震
 - 1. 十八世紀中頃までの水害
 - 2. 三条地震
- 第二節 村々の疲弊と農民層の分解
 - 1. 変貌する農村
 - 2. おもな村々の村況と変化
 - 3. 農村の窮状―出稼ぎ・奉公・離村―

終章 近代への胎動

- 第一節 江戸幕府の崩壊
- 第二節 変革への思想的・宗教的対応

第四編 近代の燕

第一章 近代国家の成立と燕

- 第一節 地方行政制度の出発と展開
 - 1. 大区小区制下の町と村
 - 2. 戸籍と徴兵
 - 3. 地方三新法下の町と村

- 4. 自由民権運動と燕
- 第二節 地租改正と農村
 - 1. 地租改正事業の開始
 - 2. 燕における事業の展開
 - 3. 割地慣行と地租改正
- 第三節 近代学制の発足
 - 1. 私塾・寺子屋と燕の教育
 - 2. 「学制」と小学校の設置
- 第四節 明治初期の農業とムラの暮らし
 - 1. 治水と用排水
 - 2. 農業生産と暮らし
 - 3. 神仏分離と神社取り調べ
- 第二章 明治中期・末期の燕
 - 第一節 町村制と地方自治の進展
 - 1. 明治二十二年の町村合併
 - 2. 町村会と町村財政
 - 3. 明治三十四年の町村合併
 - 4. 日清・日露戦争と燕

[コラム] 燕町の大火
 - 第二節 殖産興業と伝統産業
 - 1. 和釘からの脱出
 - 2. 明治中・末期の工業
 - 3. 問屋制家内工業と職人世界
 - 第三節 西蒲原農業の展開と燕
 - 1. 地主層の発生と農会の成立
 - 2. 横田切れと分水工事
 - 3. 農業生産力の向上
 - 第四節 明治の燕の人口動態
 - 1. 家制度下の人口動態
- 第三章 産業革命期の燕と資本主義の展開
 - 第一節 揺れ動く町村制
 - 1. 大正期の政争
 - 2. 米騒動と社会事業の展開
 - 第二節 洋食器生産の進展と燕の活況
 - 1. 洋食器生産開始と機械化
 - 2. 工業基盤の充実と組織化

- 3. 金融機関の展開
- 4. 新問屋制と職工争議
- 5. 交通手段の進歩
- 第三節 農村社会の変貌と農業
 - 1. 稲作技術の向上と農家の経済
 - 2. 小作人組合の結成
 - 3. 農民運動と小作争議
- 第四節 国家主義的教育の展開
 - 1. 学校統合と組合立学校
 - 2. 実業教育の進展
 - 3. 通俗教育の諸相
- 第五節 大正・昭和期の人口動態とその背景
 - 1. 工業の発達と地方労働市場の成立
 - 2. 人口の集中
- 第四章 昭和恐慌から戦時体制へ
 - 第一節 燕町政の展開と戦争への動員
 - 1. 燕町と太田村の合併
 - 2. 燕町政と公共事業
 - 3. 戦争への動員
 - 4. 戦局の悪化と生活統制
 - 5. 町内の精神的統合
 - 第二節 商工業の動向
 - 1. 伝統工業と洋食器生産
 - 2. 工業組合法と洋食器工業の伸展
 - 3. 戦時統制と燕工業
 - 第三節 農村恐慌と戦時下の農業
 - 1. 自作農創設運動
 - 2. 大通川等の改修事業
 - 3. 農業経済の改善
 - 4. 戦時下の食糧危機
 - 第四節 戦争と教育
 - 1. 初等教育の動向
 - 2. 青年訓練所と青年学校
 - 3. 時局の推移と各種団体の動向

第五編 現代の燕

第一章 戦後の復興と燕

- 第一節 終戦の混乱と復興
 - 1. 生活物資の欠乏と緊急住宅政策
 - 2. 民主主義諸改革の展開
- 第二節 戦後の耕地政策
 - 1. 農地改革と農村社会
 - 2. 農協の設立と事業
 - 3. 昭和二十年代の農業
- 第三節 洋食器生産の復活
 - 1. 洋食器の生産再開と輸出
 - 2. 工業組合と商工会議所
 - 3. 昭和二十年代の燕町の産業
 - 4. 米国輸出の進展
 - 5. ステンレスと技術開発
- 第四節 民主教育体制の設立
 - 1. 六・三制の実施
 - 2. 新教育と燕の学校
- 第二章 開発計画と高度成長期の燕
 - 第一節 都市計画と財政再建
 - 1. 上水道敷設計画
 - 2. 財政再建に向けて
 - 3. 交通路と宅地・工業用地の開発
 - 4. 未曾有の災害燕を襲う
 - 第二節 輸出問題と構造改善
 - 1. 米国などの洋食器輸入制限と対策
 - 2. 産地の対応
 - 3. 洋食器とハウスウェア
 - 4. 近代化と構造改善
 - 第三節 問屋制下請と労働組合運動の展開
 - 1. サプライヤー支配の確立
 - 2. 労働組合運動と最賃制の普及
 - 3. 戦後労働市場の展開
 - 第四節 都市構造の変革と市民の生活
 - 1. 急増する燕市域の人口
 - 2. 都市構造の変化と課題
 - 3. 生活様式の転換
 - 第五節 高度成長下の農業

1. 稲作の発展と土地改良
2. 土地基盤の整備と県営圃場
3. 昭和三十年代の農業集落

第六節 市民生活と教育文化

1. 学校の分離独立
2. 特徴ある学校へ
3. 社会教育施設の充実

第三章 安定成長と構造改革期の燕

第一節 都市基盤の充実へ

1. 都市ガス事業への取り組み
2. 新しい福祉政策
3. 大規模住宅団地の造成
4. 広域行政への取り組み

第二節 高速交通時代の到来と社会資本の充実

1. 燕市振興基本計画
2. 上越新幹線と北陸自動車道
3. 燕労災病院の開業
4. ミニコロニー「つばくろの里」建設
5. 公共下水道

第三節 燕商工業苦節の時代

1. 輸入課徴金とドルショック
2. 石油危機の影響
3. 円高と途上国の追い上げ
4. 産地の構造調整
5. 商業・物流の近代化

第四節 近代化と燕の農業

1. 減反政策下の稲作事業
2. 今、燕の農業は
3. 燕の農業集落

第五節 地域社会と市民生活

1. 人口ドーナツ化の進行
2. 中心市街地の変容
3. 混住化とコミュニティづくり
4. 露天市場と市民の生活
5. 社会教育の進展